取扱説明書

MP3プレーヤ / FMチューナ

iFP series

Firmware Upgradable

お買い上げありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みください。

本パッケージに同梱されていますインストールCDに含まれていますソフトウェアMoodlogicは英語環境でのみ動作いたします。つきましては、日本におけるMoodlogicのサポートは、対象外とさせていただきますのでご了承ください。

FCC認証

本機はFCC規則第15部に準拠しています。動作は以下の条件の対象となります。（1）本機は（他の通信設備に対して）電波障害となりうるような操作を行ってはならない。かつ（2）本機は（本機にとって）望ましくない動作を生じえる、他の通信設備からの干渉を受容しなければならない。

注意：この機器は試験の結果FCC規則第15部に従って、クラスBデジタル機器の制限に準拠すると裁定されました。この制限は家庭設置における有害な干渉に対し十分な保護を提供するために設けられたものです。この機器は無線周波数エネルギーを発生し利用し放出しますが、指示通りに設置されかつ使用されなかった場合には無線通信に有害な干渉を生ずることがあります。しかし、特定の設置で干渉を発生しない保証はありません。この機器が万一ラジオやテレビの受信に有害な干渉を生じた場合、利用者は本機をON / OFFすることによりこれを識別することができ、以下の手段の1つまたは複数により干渉を修正することを推奨します。

- 受信アンテナを再調整するまたは設置場所を変更する。
- 本機と受信機の分離を増進する。
- 受信機が接続されている端子と異なる回路の端子に本機を接続する。
- 販売店または実績あるラジオ / テレビ技能者に相談する。

注意：本機の許可されない改造から生じるラジオやテレビへの干渉について製造業者は責任がありません。このような改造は本機を運用するユーザーの権利を無効にします。

iRiver Webサイトのご紹介

URL: http://www.iRiver.co.jp

～ iRiverの会社情報、製品情報、お客様窓口などの情報がご覧いただけます ～

- 「ファームウェア(システムソフトウェア)アップグレード」を弊社Webサイトから行えます。ファームウェアは、現在の機能を拡張するだけでなく、新機能の提供も行っています。今後導入される新しいMP3の形式等は、ファームウェアのアップグレードを通してサポートする予定です。
- 初心者向けのガイドだけでなく、よくある質問とその回答集(FAQ)もご覧になれます。

iFPシリーズの主な特長

- **マルチコーデック対応プレーヤ**
  MP3、WMA、ASF形式の音楽データに対応。

- **ファームウェア アップグレード**
  弊社 Webサイトから最新のアップデート機能を無料でダウンロードしてお使いいただけます。

- **多言語対応のグラフィック液晶ディスプレイ**
  日本語（カタカナ、ひらがな、漢字）、英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、イタリア語、その他のアルファベットフォント、韓国語を含む36ヶ国語の言語に対応。
  （iFP-190TC、195TCは中国語を含む37カ国語に対応可）

- **FMラジオチューナ機能**
  ラジオ周波数を素早く探知できる自動スキャン機能と周波数メモリ機能を備えたFMラジオチューナを搭載。

- **6 種類のイコライジングパターン**
  Normal、Rock、Jazz、Classic、U Bass、User EQからお好みの音質を選択可能。

- **GUI（Graphic User Interface）メニュー操作による簡単ナビゲーション**

- **最大８階層のフォルダまで対応**

- **ユーザー独自の再生リストを作成可能**

目　次

1. 各部の名称

2. 基本操作

3. 便利な機能

4. その他の情報

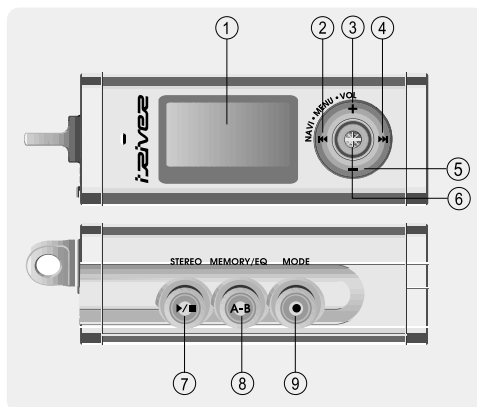
各部の名称

前 面
ネックストラップ取付部
マイク
液晶ウィンドウ
VOL（音量）＋
▶▶|
|◀◀
VOL（音量）－
ナビ／メニュー NAVI／MENU
NAVI・MENU・VOL
側面 1
STEREO MEMORY/EQ MODE
ステレオ STEREO ▶／■（再生／停止）
メモリー／EQ MEMORY／EQ A-B（リピート）
モード／録音 MODE／REC ●（録音）

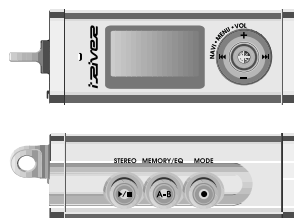
各部の名称

各部の名称

液晶ウィンドウ

プレーヤの基本操作

1. 液晶ウィンドウ
2. MP3の前の曲、または前のFM局を選択する
3. 音量を上げる
4. MP3の次の曲、または次のFM局を選択する
5. 音量を下げる
6. ナビ/メニュー（NAVI/MENU）機能を選択する
7. MP3の再生を開始/停止する、FMのモードを選択する、電源をオフにする
8. EQモード、A-B間リピート（繰り返し）、メモリに保存したFM局を自動的に選択する
   （EQ : NORMAL → ROCK → JAZZ → CLASSIC → U BASS → USER EQ）
9. 機能や再生モードを選択する、または録音を開始/停止する

プレーヤの基本操作

基本操作

VOL＋／− を押して音量を上げる／下げる

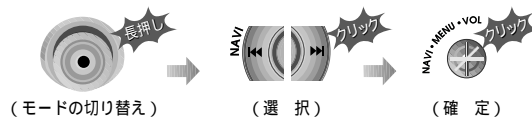
FMモードを選択する
（Stereo／Mono）

（詳しくは38ページ参照）

MP3 → FM → VOICE に変更する

（モードの切り替え）

（選　択）

（確　定）

ナビゲーション

NAVI／MENU ボタンを押してから VOL＋、または VOL− ボタンを押して目的のトラック（曲）へ進みます。上のフォルダへ移動するには、I◀◀ スイッチを押します。最上位フォルダまで達すると、I◀◀ によるナビゲーションは終わります。
トラックを選択するには、NAVI／MENU ボタン、▶▶I、または 再生／停止 ボタンを押します。

プレーヤの基本操作

メニュー

NAVI/MENUボタンを長押しすると、メニュー機能が実行されます。

- **メニュー間の移動**：|◀◀と ▶▶|を押す
- **終了**：VOL－ スイッチを押すか、NAVI/MENU ボタンを長押しする
- **機能の選択**：NAVI/MENU ボタンを押す

（詳しくは52ページ「メニュー」をご参照ください。）

モード

MP3ファイルの再生中に MODE/REC を押すと、Repeat（繰り返し）やShuffle（シャッフル）などの再生モードを設定できます。

（詳しくは46ページ「モード」をご参照ください。）

MODE/RECボタンを長押しする：

MP3、FMチューナ、またはボイスレコーディング機能を選択できます。
（MP3 を選択すると、再生モードが自動的にアクティブ（演奏開始）になります。）

PCにソフトウェアをインストールする

お持ちのPCのCD-ROMドライブにインストールCDを挿入します。
CDを挿入すると以下の画面が出ます。

インストールが自動的に開始しないときは、インストールCD内の［setup.exe］ファイルを実行します。インストールプログラムが開始します。

インストールCDには以下が含まれています。
- デバイスドライバ
- iRiver Music Manager

本製品はMP3ファイルや様々な形式のファイルを保存できます。 iRiver Music Managerプログラムを使ってPCに音楽形式（MP3、WMA、ASF）以外のファイルを転送できます。

www.iRiver.co.jpから最新のドライバとiRiver Music Managerのアップデーターをダウンロードできます。

●Microsoft Windows 2000;XPのOSを使用している方はアドミニストレータレベルで（管理者レベル）ログインし、iRiver Music Managerをインストールしてください。

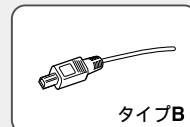
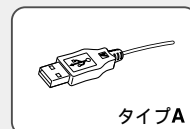
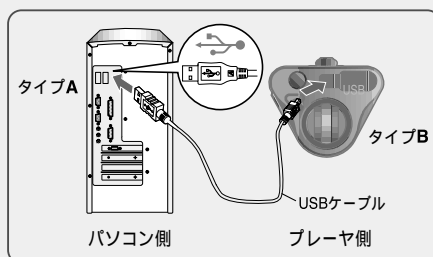
最小限必要作動環境

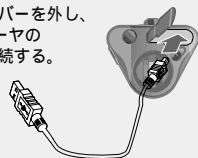
●Pentium 133MHz以上
●USBポート
●Windows 98SE/ME/2000/XP
●CD-ROMドライブ
●ハードディスクの空きスペース10MB

PCにソフトウェアをインストールする

1「新しいハードウェア」のインストール

1 付属のUSBケーブルとパソコンを接続する。

下図のように、タイプAをパソコンのUSBポートへしっかりと接続してください。

2 パソコンと接続したUSBケーブルとプレーヤを接続する。

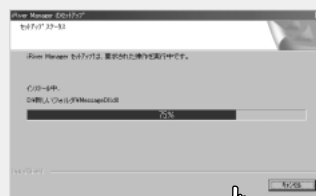
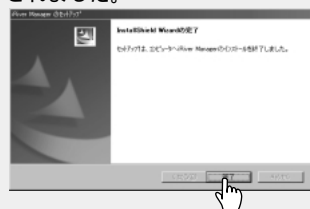
プレーヤの電源を入れ、
USBポートのカバーを外し、
タイプBをプレーヤの
USBポートに接続する。

3 プレーヤの液晶ウィンドウに「USB CONNECTED」と表示される。

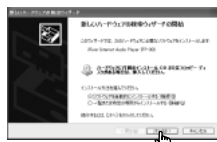
ご注意 USBケーブルをプレーヤに接続する前に必ずプレーヤの電源を入れてください。

PCにソフトウェアをインストールする

1 インストールする言語を選択して［次へ］をクリックします。

2 ［次へ］をクリックしてiRiver Music Managerのインストールを開始します。

3 インストールするフォルダを選択し、［次へ］をクリックします。

PCにソフトウェアをインストールする

Windows XPでのインストール

付属のCD-ROMからManagerソフトをインストール後、電源の入ったプレーヤとPCをUSBケーブルで接続すると、左図のメッセージが表示されます。
「次ぎへ」をクリックしてドライバのインストールを開始してください。

インストール中、左図の警告文が表示されたら、「続行」ボタンをクリックして、インストールを続けてください。
（付属のCD-ROMはiRiverの公式なインストールプログラムです。安全なインストールが確認されております。）

「完了」ボタンをクリックして、インストールを完了してください。

Windows98SE、Meおよび2000ではこの設定は必要ありません。

ソフトウェアの基本操作

プレーヤとファイル転送

1）PCからのダウンロード
プレーヤの電源を入れPCにUSBケーブルを接続してからプログラムを起動します。

1 PC内のフォルダやファイルを選択します。

2 プレーヤ内の転送先フォルダを選択します。

3 [ダウンロード]アイコンをクリックするか[転送]メニューで[ダウンロード]を選択し、選択したファイルをプレーヤに転送します。

4 ダウンロードが進行します。

5 ダウンロードが完了します。

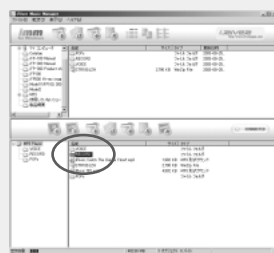
注意

＊半角英数127文字（日本語63文字）以上の名前のファイルは転送されません。
＊パス名ファイル名を含め半角英数511文字以上のファイルは転送されません。
＊ルートフォルダはファイルとフォルダの総数が1024に限定されています。
　サブフォルダにはファイル数の制約はありません。

プレーヤとファイル転送

2）PCへのアップロード

プレーヤに電源を入れPCにUSBケーブルを接続してからプログラムを起動します。

1 プレーヤ内の保存したいフォルダやファイルを選択します。

2 PC内の転送先フォルダを選択します。

3 ［アップロード］アイコンをクリックするか転送メニューで［アップロード］を選択し、選択したファイルをプレーヤからPCに転送します。

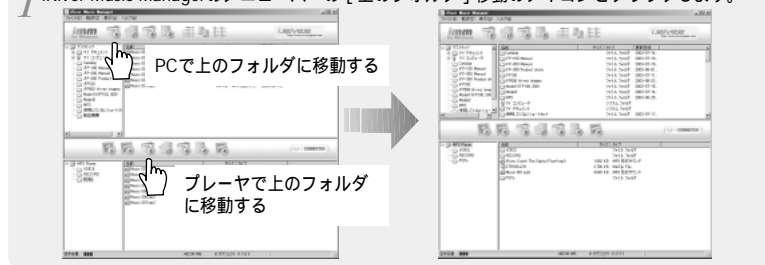
4 アップロードが進行します。

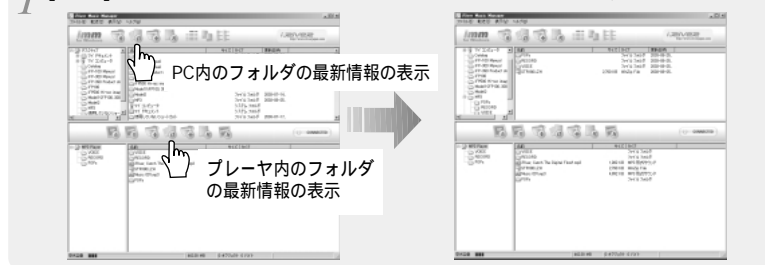
5 アップロードが完了します。

注意

- 録音したFM放送，ライン入力、音声ファイル、任意のデータファイルはPCにアップロードできます。音楽形式のファイル（MP3，WMA，ASF）はプレーヤからPCに転送できません。
- 録音したFM放送、ライン入力、音声ファイルをアップロードする際は、必ずRECファイルからMP3ファイルへの変換作業を行ってください。

3）上のフォルダに移動する（PCおよびプレーヤ）

1 iRiver Music Managerのメニューバーの［上のフォルダ］移動のアイコンをクリックします。

4）最新の情報（PCおよびプレーヤ）にアップデートします。

1 ［更新］アイコンをクリックしてPCやプレーヤの内容を更新します。

3. ファイル管理

1）プレーヤに新規フォルダを作成する

1 ［新規のフォルダ］アイコンをクリックするか、ファイルメニュー内の［新規フォルダ］を選択して新規のフォルダを作成します。

2 新規フォルダが作成されます。

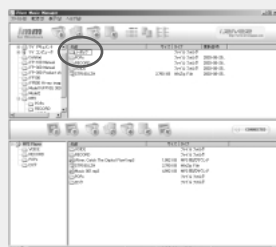
3 新規フォルダの名前を入力します。

フォルダとファイルの操作

2）PCに新規フォルダを作成する

1 iRiver Music Managerのメニューバーの［新規フォルダ］のアイコンをクリックします。

2 新規フォルダが作成されます。

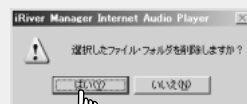
3 新規フォルダの名前を入力します。

フォルダとファイルの操作

フォルダとファイルの操作

4）PC内のフォルダやファイルを削除する

1 Managerプログラムを起動してから、削除するファイルやフォルダを選択します。

2 ［削除］アイコンをクリックします。

3 ［はい］をクリックします。

注意

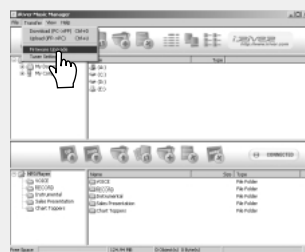
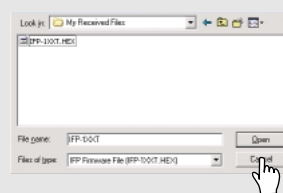
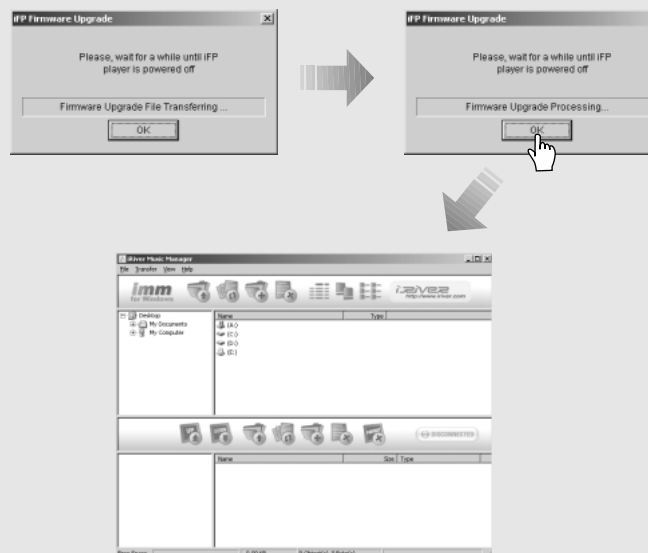
●この操作によりハードディスクからファイルが完全に削除されます。操作には十分ご注意下さい。

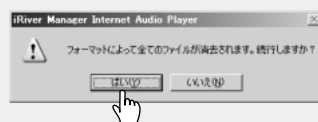
4 ファイルが削除されます。

4. 追加の機能

1）ファームウェアの更新

1 iRiverホームページから最新のファームウェアをダウンロードします。この際、必ずご使用の機種をご確認の上、その機種専用のファームウェアをダウンロードしてください。ダウンロードされたファイルを解凍します。[***.EXE]ファイルを実行すると、[iFP180T.HEX]、[iFP190TC.HEX]、あるいは[iFP195TC.HEX]というファームウェアファイルが作成されます。

2 [転送]メニューから[ファームウェアのアップグレード］をクリックします。

3 ご使用の機種のファイル（[iFP180T.HEX]、[iFP190TC.HEX]、あるいは[iFP195TC.HEX]）をクリックし、次に[開く]をクリックします。

4 ファームウェア更新の進行中、以下のウィンドウが表示されます。
プレーヤの電源がオフになったら［OK］をクリックします。

2）**フォーマット**

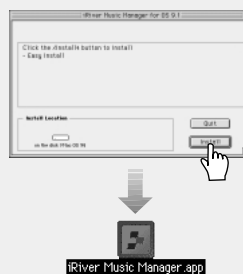
フォーマットするとプレーヤメモリの中のファイルはすべて消去されます。
操作には十分ご注意下さい。

Macへのインストール

1）Mac OS9.2

1 インストールCDのMAC-OSフォルダにある「MAC OS➡ OS 9➡ IRIVER MUSIC MANAGER FOR MAC OS-9.SIT」ファイルをデスクトップにコピーします。

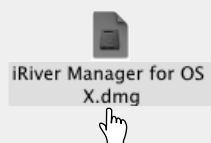
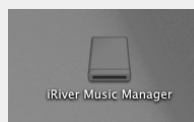
2 「iRiver Music Manager for OS 9.sit」をダブルクリックして、iRiver Music Manager用のVISEインストール・ファイルを解凍します。

3 「VISE」アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。

4 「Install」をクリックします。

Macへのインストール

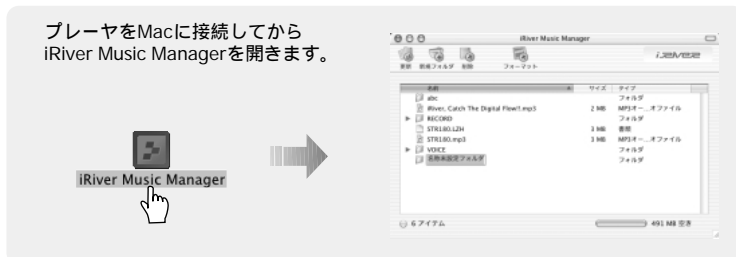
1）Mac OS X

1 インストールCDのMAC-OSフォルダー内の「MAC OS➡ OS X➡ IRIVER MUSIC MANAGER FOR MAC OS X.DMG」をダブルクリックします。
「iRiver Music Manager」と呼ばれる暫定「ドライブ」アイコンがDMGファイルによりインストールされます。

iRiver Manager for OS X.dmg

2 iRiver Music Managerのドライブを開いてiRiver Music Managerのアイコンをドックまたはデスクトップに移動します。

3 これでiRiver Music Managerのインストールが完了しました。

《最小限必要動作環境（MAC）》

ーMac OS 9.2.2以上
ーMac OS X 10.1.4以上
ーCarbonLib 1.6以上
＊CarbonLibの更新方法：
OS X：アップルメニュー➡
　　システム環境設定➡
　　システム➡ソフトウェアアップデート
OS 9：アップルメニュー➡
　　コントロールパネル➡
　　ソフトウェアアップデート

iRiver Music Manager の Mac 上での使用方法

4）フォルダーまたはファイルの削除

削除するファイルまたはフォルダーを選択してから「削除」アイコンをクリックして削除します。

5）フォーマット

フォーマットを使用するとプレーヤのメモリ上の全てのファイルが削除されます。

フォーマットを行うには「フォーマット」アイコンをクリックします。

6）Macからのダウンロード

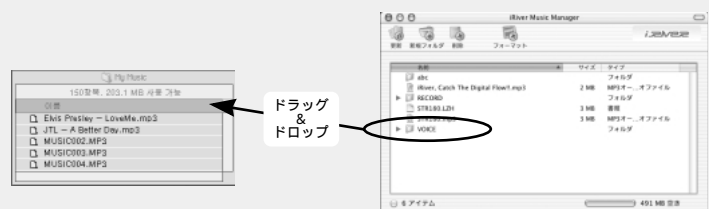
1 ダウンロードしたいファイルまたはフォルダを選択してからプレーヤ上のダウンロードフォールダへドラッグ・アンド・ドロップで移動します。

ドラッグ
&
ドロップ

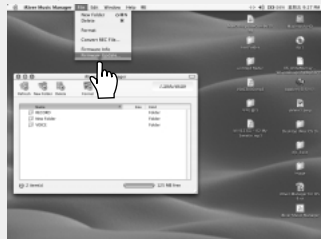
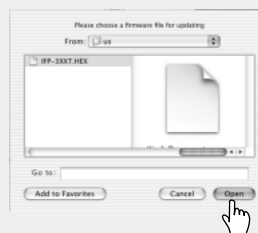
注意

＊半角英数127文字（日本語63文字）以上の名前のファイルは転送されません。
＊パス名ファイル名を含め半角英数511文字以上のファイルは転送されません。
＊ルートフォルダは合計で1024ファイル（iFP-340：256）までの制限があります。
　サブフォルダにはファイル数の制約はありません。

7）Macへのアップロード

アップロードするファイルまたはフォルダを選択してからMac上のアップロードフォルダーへドラッグ・アンド・ドロップで移動します。

注意

－現存する著作権法によってプレーヤからMacへの音楽ファイル（MP3,WMA,ASF）のアップロードはできません。
－データファイルの他，FMから録音したファイル，外部ラインからの録音及び音声ファイルのアップロードは可能です。

IRiver Music Manager の Mac 上での使用方法

音楽を聴く

1 図のようにイヤホンを接続する。

2 HOLDスイッチを「オフ」の方へ押す。

3 再生/停止ボタンを押してプレーヤの電源を入れる。再度クリックすると再生が始まります。

4 音楽を選択する。

|◀◀ : 前の曲を選択する
▶▶| : 次の曲を選択する

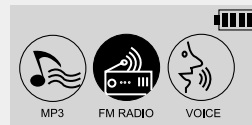
5 音量を調整する。

＋ : 音量を上げる
－ : 音量を下げる

ご注意 ◎HOLDスイッチが「オン」の場合、プレーヤのボタンは機能しません。

◎MP3が停止状態か、またはボイスレコーディング機能が待機状態の場合、MENU の [STOP POWER OFF] の設定 (58ページ) に従って、プレーヤは自動的にオフになります。

音楽を聴く

NAVI • MENU • VOL
STEREO MEMORY/EQ MODE
A-B
プレーヤの電源をオンにする
クリック
再生する
クリック
機能を変更する
（MP3 → FM → ボイスレコーディング）
長押し
停止する
クリック
次へ進む
クリック
前に戻る
クリック
次のフォルダを再生する
クリック
+
長押し
前のフォルダを再生する
クリック
+
長押し
早送りする
長押し
早戻しする
長押し
プレーヤの電源をオフにする
長押し

FMチューナを操作する

周波数の選択（**FM 76.0MHz～108MHz**）

周波数を変えるには、I◀◀または ▶▶Iスイッチを押して左/右に移動する。

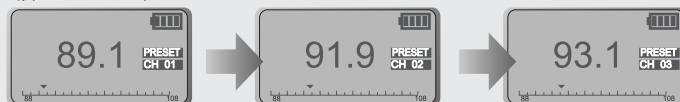
（例：87.5 → 87.6）

自動スキャン機能：

チャンネルを自動的にスキャンする際は、I◀◀ または ▶▶I スイッチを長押しして左右に移動し、チャンネルを見つける。

PRESETモード：

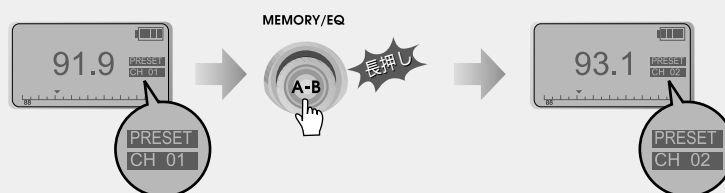
メモリに保存したチャンネルを選択するには、NAVI／MENUボタンを押してから I◀◀ または ▶▶I スイッチを押して左右に移動し、チャンネルを見つける。

（例：89.1 → 93.1）

ご注意　プレーヤに事前にチャンネルが設定されていない場合は、PRESETモードで「EMPTY」と表示され、メモリされていないことを示します。

FMチューナを操作する

メモリの削除機能（保存したチャンネルの削除）

1 PRESETモードで、削除するチャンネルを選択する。

2 MEMORYボタンを長押しする。

チャンネルの削除が完了すると、次のチャンネルが表示されます。
次のチャンネルも削除したい場合は、再度MEMORYボタンを長押しします。

◎受信できるFM局は地域によって異なります。
◎PRESETモードでは、自動スキャンおよび自動メモリ機能は利用できません。
◎プレーヤのメモリにFMチャンネルが保存されていない場合、PRESETモード画面に「EMPTY」が表示され、その後フェイドアウトします。

再生／停止ボタンを長押しして、プレーヤの電源をオフにする。

プレーヤの電源をOFFにするには、
PLAY/STOPボタンを長押しします。

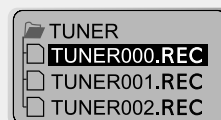
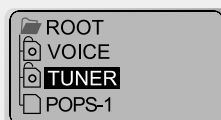
FMラジオを録音する

FMの録音

FM再生中にMODE／RECボタンを押します。

FM録音の停止

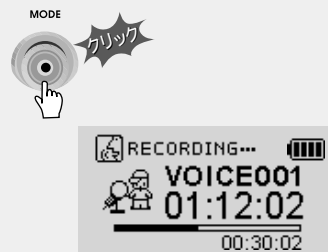
再びMODE／RECボタンを押して録音を停止します。

録音したファイルはTUNER000.RECとしてTUNERフォルダに保存されます。

録音したファイルの再生：
はじめにMP3モードに変えてから、TUNERフォルダ内のTunerファイルを選択して、
再生／停止ボタンを押します。

録音中の一時停止：
再生/停止ボタンを録音中に押します。
録音を再開するには、再度、再生/停止ボタンを押します。

ご注意　録音中は録音停止以外の操作（音量調整、選局等）はできません。

音声を録音する

1 MODE／RECボタンを長押しする。
MODE
長押し
MP3
FM RADIO
VOICE
2 ⏮または⏭を押して、
音声モードの図を選択する。
NAVI • MENU • VOL
クリック
MP3
FM RADIO
VOICE
3 NAVI／MENUボタン、または
再生／停止ボタンを押して
ボイスレコーディングモードに入る。
MODE
クリック
または
NAVI • MENU • VOL
クリック
●READY RECORD
Remain time
01:12:02
NO FILE
4 MODE／RECボタンを押して、ボイス
レコーディングを開始する。
MODE
クリック
RECORDING…
VOICE001
01:12:02
00:30:02

音声を録音する

録音の停止

MODE／RECボタンを押す。

●READY RECORD
Remain time
01:12:02
TOTAL :003

録音したファイルの再生

再生／停止ボタンを押す。

録音中の一時停止：
再生 / 停止ボタンを録音中に押します。
録音を再開するには、再度、再生 / 停止ボタンを押します。

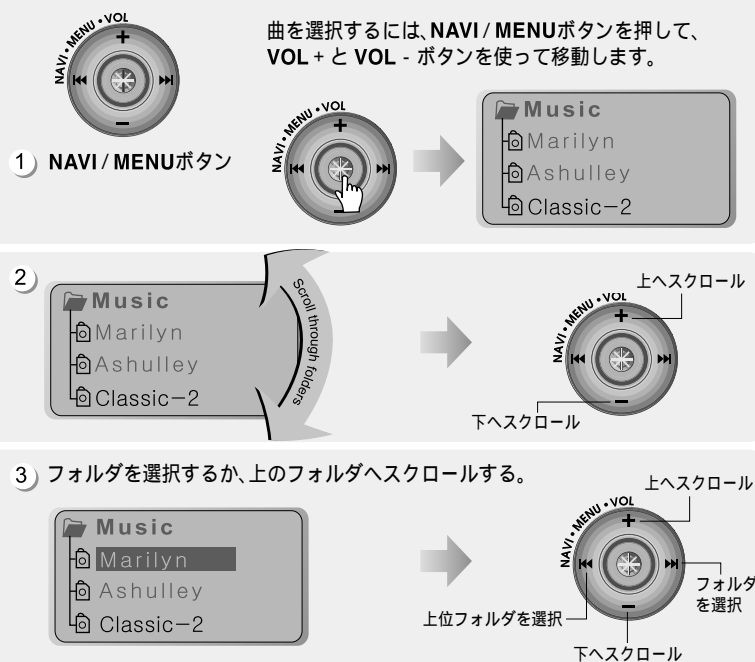
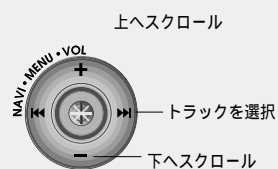
◎録音したファイルは、VOICE000.RECの形式で、ROOTの下のVOICEフォルダに保存されます。

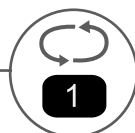
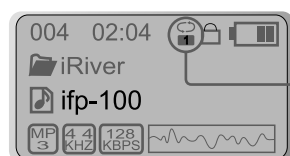
◎液晶ウィンドウに -00.00.00- と表示された場合は、プレーヤのメモリーに空きがないことを示しています。さらに録音するには、プレーヤのフォルダからファイルを削除して空きスペースを作成してください。(詳しい削除の方法は24ページ参照)

ナビゲーション

ナビゲーションは、トラックの検索に使用する機能です。
曲を選択するには、NAVI／MENUボタンを押して、
VOL＋と VOL－ボタンを使って移動します。
1 NAVI／MENUボタン
NAVI • MENU • VOL
Music
Marilyn
Ashulley
Classic－2
2
Scroll through folders
上へスクロール
下へスクロール
3 フォルダを選択するか、上のフォルダへスクロールする。
上へスクロール
フォルダ
を選択
上位フォルダを選択
下へスクロール

ナビゲーション

モード

MODEの下の項目を選択することによって、Repeat（繰り返し）や Shuffle（シャッフル）といったさまざまなオプションを設定できます。

（詳しい設定方法は60ページ「メニュー」、各モードの内容は47ページ「モード表示について」を参照してください。）

モード表示について

REPEAT（繰り返し）

1	単一トラックを繰り返し再生する。
D	フォルダ内の全トラックを再生し、停止する。
D	フォルダ内の全トラックを繰り返し再生する。
A	プレーヤの全トラックを繰り返し再生する。

SHUFFLE（シャッフル）

SFL	プレーヤの全トラックをランダムに繰り返し再生し、停止する。
SFL D	フォルダ内の全トラックをランダムに繰り返し再生し、停止する。
SFL DA	フォルダ内の全トラックをランダムに繰り返し再生する。
SFL A	プレーヤの全トラックをランダムに繰り返し再生する。

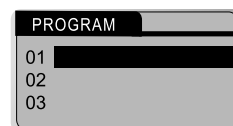
INTRO（イントロ）

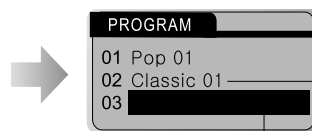
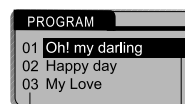
I	**INTRO**：各トラックの最初の10秒間を順番に再生する。 **INTRO HIGHLIGHT**： 各トラックごとに再生されたスポット1分から10秒間を順番に再生する。 例えば、曲Aをスポット1分から10秒間再生し、続いて曲Bをスポット1分から10秒間再生し、以降の各トラックでも同様の処理を行います。 各トラックのハイライトは1分10秒の地点で終わります。

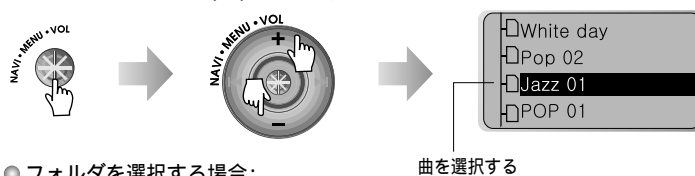
プログラムモード

プログラムモードを設定する

プログラムモード：オリジナルの再生リストを作成します。

1 **演奏停止の状態でMEMORY／EQボタンを押す。**

ご注意 停止中はプログラムモードが実行されますが、音楽の再生中はRepeat A-Bが実行され液晶ウィンドウに A▶B アイコンが表示されます。

2 VOL＋とVOL－**スイッチを押して、プログラムする曲番を選択する。**

3 ファイルを一つずつ選択する場合：

NAVI／MENUボタンを押してから、VOL＋と VOL－スイッチを使って
プログラムするファイル（曲）を選択する。

曲を選択する

フォルダを選択する場合：

NAVI／MENUボタンを押してから、VOL＋と VOL－スイッチを使ってフォルダを選択する。
フォルダを選択するとフォルダ内のすべてのファイルを保存します。

4 MEMORY／EQボタンを押す。

プログラムしたファイルの削除

削除するファイルを選択してから、MODE／RECボタンを押します。
プログラムリストは自動的に変更されます。

プログラムモード

プログラム再生

プログラムを作成した後、 を押してトラックを順番に再生します。

STEREO

プログラムモードアイコン
が表示されます。

001 02:04
ROOT
I LOVE iRiver
MP3 44KHZ 128KBPS

プログラムモードの取消

演奏停止中に:

NAVI • MENU • VOL
クリック

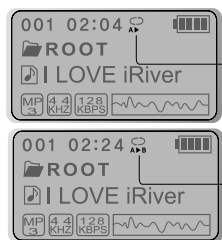
区間繰り返し(リピート)

選択した区間を繰り返し再生します。

001 02:04
ROOT
I LOVE iRiver
A▶

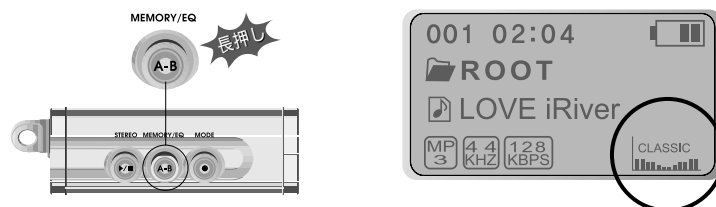
MEMORY/EQ
A-B

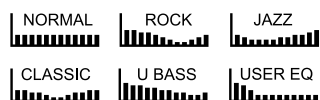
ボタンを 1 回押して、開始の〈A〉地点を選択する。

001 02:24
ROOT
I LOVE iRiver
A▶B

MEMORY/EQ
A-B

再びボタンを押して、終了の〈B〉地点を選択する。

A-B区間が繰り返されます。
取り消すには再びボタンを押します。

EQモード

MEMORY／EQボタンを長押しすると、現在のEQが表示されます。
表示されている間、このボタンを押すたびにEQモードが順番に変わります。

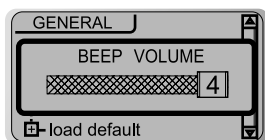
NORMAL　ROCK　JAZZ
CLASSIC　U BASS　USER EQ

（ユーザーEQの詳しい設定方法は、61ページを参照してください。）

メニュー

機能制御の内容は、ファームウェアのバージョンによって変更される可能性があります。
自分専用の設定を構成することができます。
構 成 詳しくは各オプションの設定方法のページをご参照ください。
GENERAL
beep volume
resume
fade in
language
voice recording mode
load default
DISPLAY
back light
lcd contrast
visualization
tag information
time
TIMER
sleep
pwr off
CONTROL
fast skip
scan speed
scroll speed
sound balance
AGC
MODE
repeat
shuffle
intro
User EQ
bass boost
treble boost

メニュー

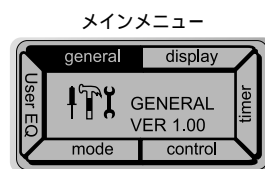
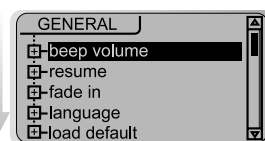
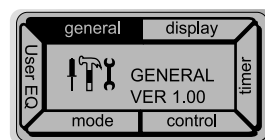
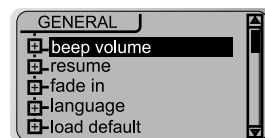
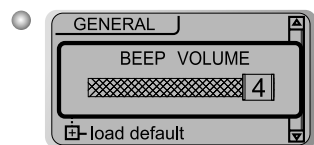
メニュー操作

- NAVI／MENUボタンを長押ししてメニューを表示します。
  メニューは、6つのメインメニューとサブメニューから成ります。

  サブメニューを選択すると、表示の詳細なオプションを設定できます。

- メニュー間の移動
  ◀◀ または ▶▶ ボタンを押すと、メインメニューおよびサブメニュー間を移動します。

- メインメニューからサブメニューへ移動

メニュー

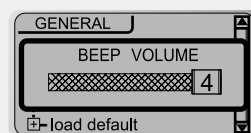
サブメニューに入ります。

GENERAL
BEEP VOLUME
4
load default

それぞれのコントロールオプションが
表示されます。

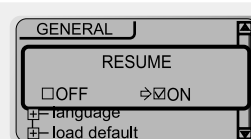
サブメニューの終了
－ボタンを押してメインメニューへ

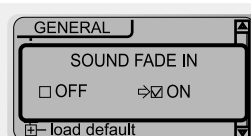
メニュー（機能制御）モードを終了する
－ボタンを押してメインメニューへ

GENERAL

BEEP VOL：

ビープ音のオン/オフ、およびオンの場合の音量を設定します。"０"を指定するとオフになります。

RESUME：

オンにすると、停止または電源オフの後、プレーヤは以前と同じ設定に戻ります。

FADE IN：

オンにすると、再生モード時に音量が徐々に大きくなるので、急な大音量を防ぐことができます。

LANGUAGE：

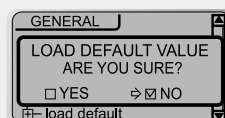
言語を選択すると、ファイル/フォルダ名、およびID3タグ情報が正しいフォントで表示されます。

メニュー

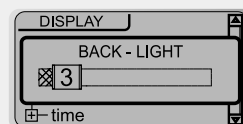
VOICE RECORDING MODE：

ボイスレコーディングの音質を選択します。
高音質を選択すると、録音可能時間は短くなります。

LOAD DEFAULT VALUE：

初期設定の状態に戻します。

DISPLAY

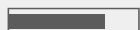
BACK LIGHT：

バックライトの点灯時間（OFF～30秒）を調整できます。

LCD CONTRAST：

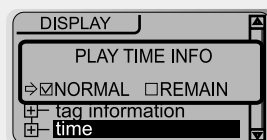
液晶ウィンドウ（LCD）のコントラストを調整します。
コントラストは ⏮ と ⏭ ボタンを使って調整できます。

メニュー

VISUALIZATION：
再生モード時に、オーディオ信号を視覚化した波形、トラックの経過時間、またはメモリの空き容量のいずれかを選択し、表示できます。

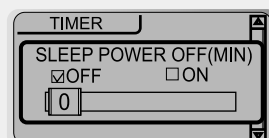
WAVEFORM（オーディオ信号）
PROGRESSIVE（トラックの経過時間）
FREE SPACE（メモリの空き容量）

TAG INFORMATION：
On : ID3タグ情報と共にトラックを表示します。
Off : ファイル名と共にトラックを表示します。

TIME：
Normal : 経過時間を表示します。
Remain : 残り時間を表示します。

ファイルがVBR（可変ビットレート）の場合は、正確な時間が表示されないことがあります。

TIMER（自動電源オフの設定）

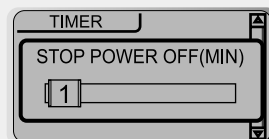
SLEEP POWER OFF：

一定時間後に自動的に電源を切ります。
（時間は0～99分の間で設定できます。）

I◀◀と▶▶Iボタンを使って時間を調整します。

ご注意 一度電源を切ると、Sleep Power Offで設定した時間は " 0 " に戻ります。

STOP POWER OFF：

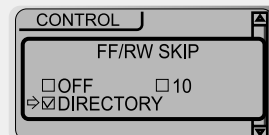
停止モード時に自動的に電源を切ります。
(1～60分)

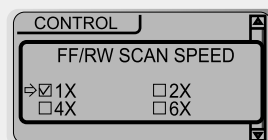
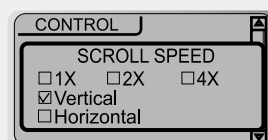
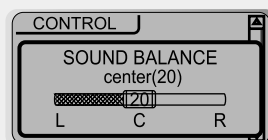
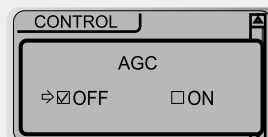
I◀◀と▶▶Iボタンを使って時間を調整します。

CONTROL

FAST SKIP ：

OFF : スキップ機能を無効にします。

10 : 前／次の10番目のトラックを再生します。

Directory : 前／次のディレクトリへスキップします。

メニュー

FF/FR SCAN SPEED ：
1倍速、2倍速、4倍速、6倍速の範囲で、
スキャン速度を設定します。

SCROLL SPEED ：
ファイル名・タグ情報のスクロール速度を
調整します。(1/2/4倍速)
Vertical : 上下にスクロールします。
Horizontal : 左右にスクロールします。

SOUND BALANCE ：
好みに応じて、音を左右に振り分けるか、
または中央に設定します。

AGC ：
ON：ボイスレコーディング時に、録音レベル
が自動的に制御されて、遠く離れた場所
からの音が正常に録音されます。
※ただし、録音した音の品質は"OFF"モード時より
低下することがあります。
OFF : AGCコントロール機能を無効にします。

MODE

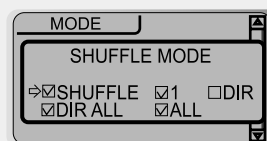
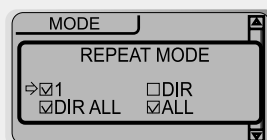
REPEAT MODE / SHUFFLE MODE ：

数種類のRepeatモードとShuffleモードが利用可能です。NAVI／MENUボタンを押してMODEメニューに入り、目的のモードを選択してください。

例：

ボタンを押して
MODEメニューへ入り、

ボタンを押して選択し、

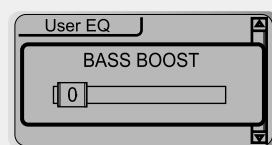
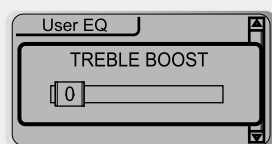
ボタンを押して終了する。

再生中にMODE／RECボタンを押すと、選択した再生モードが適用されます。（詳細については、46〜47ページを参照してください。）

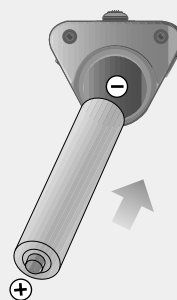
INTRO MODE ：

Intro: 各トラックの最初の10秒間を再生します。
Intro Highlight: 各トラックごとに、スポット1分から10秒間を順番に再生します。

例えば、曲Aをスポット1分から10秒間再生してから、以降の曲でも同様の処理を行うことにより、各トラックのハイライトが1分10秒の地点で終わるようにします。

Menu（User EQ）

BASS BOOST：
Bass Boost**スイッチの範囲は０～**18dB**で、**
最大の低音ブーストは18dB**です。**

TREBLE BOOST：
Treble Boost**スイッチの範囲は０～**6dB**で、**
最大の高音ブーストは6dB**です。**

電　源

電池を挿入する
1 電池カバーを開く。
電池カバーを矢印の方向（⇩）に
スライドさせ開く。
2 電池を挿入する。
単3形アルカリ乾電池を図の示すよう
に正しい方向でセットする。
3 電池カバーを閉じる。
電池カバーを矢印の方向（⇧）に
スライドさせしっかりと閉じる。

電　源

電池使用について

単３形アルカリ乾電池１本 をご使用ください。

マンガン電池、リチウム電池では正常な動作が行なわれず、故障の原因にもなります。

◎本製品では、単３形アルカリ乾電池を推奨します。充電式（ニカド／ニッケル水素）電池をご使用の場合、本製品仕様（電池寿命など）を満たさない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

◎電池寿命は、電池の種類、メーカー、ブランド、また使用状況により異なりますので、あらかじめご注意ください。電池の銘柄、製造日からの保存期間、使用温度により電池性能に差があるため、再生時間が短くなる場合があります。

⚠ 電池に関する注意

～電池を誤使用すると発熱、破裂、液漏れする恐れがあります。以下に注意してください。～

○＋－（プラスマイナス）を正しくセットしてください。
○長時間使用していない時は、必ず電源を切り電池を外してください。
○電池をショートさせたり、充電、分解、加熱、火の中に入れないでください。
○万一、電池から漏れた液が目に入った時は、すぐに大量の水で洗い医師に相談してください。皮膚や服についた時は水で洗ってください。
○乾電池によるプレーヤ内の腐食を避けるため長時間使用しない時は、乾電池をプレーヤから取り出してください。
○使用している乾電池が切れた場合、乾電池によるプレーヤ内の腐食を避けるために、すみやかに乾電池をプレーヤから取り出してください。
○万が一、プレーヤ内の乾電池が腐食した場合、乾いた布で汚れた内部を拭き取って、新しい乾電池と取り替えてください。

トラブルシューティング

故障かな？と思ったら、サポートセンターにお問い合わせになる前にもう１度チェックしてみてください。

電源が入らない	●電池が正しい向き(＋極／－極)で挿入されているか確認してください。 ●プレーヤのHOLDスイッチがオンになっていないか確認してください。(オフの位置へ移動してください。)
イヤフォンから音が出ない	●VOLUME(音量)が"０"に設定されていないか確認してください。 イヤフォンプラグをしっかり差し込む。 ●プラグが汚れていないか確認してください。 プラグを乾いた柔らかい布で拭いて汚れを取る。 ●MP3、またはWMAファイルが破損していると、静的ノイズや音切れが発生する場合があるので、PC上でファイルが破損していないか確認してください。
液晶ウィンドウの表示が文字化けしている	●MENU → Display → Languageを調べて、正しい言語が選択されているか確認してください。
FMがクリアに受信できない	●プレーヤとイヤフォンの位置を調整してください。 ●プレーヤの近くにある他の電気機器の電源を切ってください。 ●イヤフォンはアンテナの働きをします。

トラブルシューティング

MP3ファイルをダウンロードする時にエラーになる	● 電池の状態を調べてください。 ● お使いのPCとプレーヤを接続しているケーブルの両端がしっかり差し込まれているか確認してください。 ● Managerプログラムが正しく動作しているか確認してください。 ● プレーヤのメモリ残量が充分にあるか確認してください。
WMAファイルをダウンロードしたのに再生ができない	● WMAファイル変換時に、「著作権管理」または「コンテンツを保護」の項目が有効になっていると、プレーヤで再生が行えません。 ウインドウズメディアプレーヤの「ツール」メニューからオプションを選択して項目のチェックを外したのち、再度ファイル変換を実行してください。

トラブルシューティングで問題が解消されない場合は、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

また 専用ホームページ http://www.iRiver.co.jpもあわせてご覧ください。

使用上のご注意

安全にお使いいただくために

- 歩行中または運動中に起こる振動は、プレーヤには強い影響を及ぼしませんが、プレーヤを落としたり、プレーヤの上に重い物を置いたりすると、プレーヤの破損や音のゆがみが生じる可能性があります。
- プレーヤの上、または中に液体をこぼさないでください。
- 次のような場所での使用や放置は避けてください:
暖房器具の近く、直射日光が当たる場所、ほこりや砂の多い場所、湿気の多い場所、雨が降っている場所、衝撃のある場所、窓を閉じた高温の車内。
- 付属の携帯用ネックストラップを使用してプレーヤを首から下げる際、ストラップに無理な力を加えると怪我をする恐れがあります。取り扱いには十分ご注意ください。

ヘッドフォンとイヤフォンについて

- **路上での安全**
自動車、自転車その他の乗物を運転する時、あるいは歩行中にヘッドホンやイヤホンを使用して音楽を聴くことはおやめください。交通事故や重大な事故の原因となり大変危険で、地域によっては違法です。
- **聴覚障害の予防**
ヘッドフォン / イヤフォンの大音量での使用を避けてください。聴覚専門家は大音量での長時間演奏継続は聴覚障害の原因となることを指摘しています。耳鳴りがするときはボリュームを下げるか使用を中止してください。
- **マナーを守りましょう**
公共の場所でのご使用の際、周囲の人に迷惑がかからないよう、音量には十分注意してください。

使用上のご注意

ご使用を始める前に必ずお読みください。

⚠警　告（けいこく）

同梱のCDは「データCD-ROM」です。一般のオーディオ用プレーヤでは絶対に再生しないでください。大音量によって耳に障害を被ったり、機器などを破損する恐れがあります。

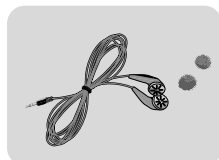
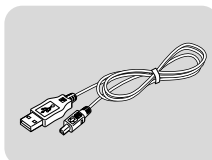
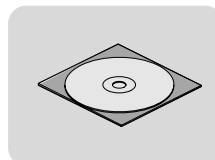
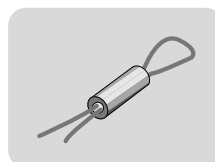
⚠注　意（ちゅうい）

●本製品には小さな部品が内蔵されています。むやみに分解しないでください。特に小さいお子様のまわりでは誤飲の危険がありますので、絶対にしないでください。●付属のケーブルを首にかけてふざけたり、乱暴に遊ばないでください。窒息などの危険があります。

～電池を誤使用すると発熱、破裂、液漏れする恐れがあります。以下に注意してください。～

＊＋－（プラスマイナス）を正しくセットしてください。＊長時間使用していない時は必ず電源を切り、電池を外してください。＊電池をショートさせたり、充電、分解、加熱、火の中に入れないでください。＊万一、電池から漏れた液が目に入った時は、すぐに大量の水で洗い医師に相談してください。皮膚や服についた時は水で洗ってください。

◎本製品は精密機器が内蔵されています。落としたり、叩いたり、乱暴な扱いは故障の原因になります。
◎改造、分解は絶対にしないでください。その場合には保証書に基づく修理および保証が受けられない場合があります。
◎可動部、取り付け部を無理な方向に引っ張ったり、折り曲げたりしないでください。
◎極端に高温、低温になる場所、ほこりや湿気、水に濡れる恐れのある場所での使用、保管は避けてください。
◎本製品を大量な静電気の発生する場所で使用した場合、内蔵の電気回路やチップ等が破損する恐れがありますので、絶対に避けてください。
◎電池寿命は、気温や保管の状況、メーカーによって差があります。
◎清掃する際は、電池を外した後に乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。

付属品

※上記の付属品およびその形状は予告なく変更される場合があります。

製品仕様

内蔵メモリ	128MB	256MB	512MB
モデル名	iFP-180T	iFP-190TC	iFP-195TC
カラー	シルバー	パールホワイト	ブラック
言　語	36ヶ国語	37ヶ国語表示対応	
ボイスレコーディング	約 9時間 (32kbps/128MB)	約 18時間 (32kbps/256MB)	約 36時間 (32kbps/512MB)

分 類	項　目	定　　格
オーディオ部	周波数帯	20 Hz ~ 20 KHz
	最大ヘッドフォン出力	(L) 10mW x (R) 10 mW (16Ω)
	S/N比	90 dB (MP3)
FMチューナ	FM周波数帯	76 MHz ~ 108 MHz
	最大ヘッドフォン出力	(L) 10mW x (R) 10 mW (16Ω)
	S/N比	50 dB
	アンテナ	ヘッドフォン/イヤフォン コードアンテナ
ファイル サポート	ファイルタイプ	MPEG 1/2/2.5 Layer 3、WMA、ASF
	ビットレート	8 Kbps ~ 320 Kbps
	タグ情報	ID3 VI、ID3 V2 2.0、ID3 V2 3.0、ID 3 V2 4.0
全　般	電 池	単 3 形アルカリ乾電池　1本
	インターフェース	USB 1.1
	液晶ウィンドウ(LCD)	バックライト付きフルグラフィック 4 ライン
	最大再生時間	約 20時間 (128kbps/MP3)
	使用温度範囲	摂氏 −5℃ 〜 40 ℃
	寸 法	82 x 31 x 25 mm (突起部除く)
	重 量	約 33g (電池除く)

最小限必要動作環境

PC

対応OS：	Windows 98SE / ME / 2000 / XP
CPU：	Pentium 133MHz 以上
メモリ：	10MB 以上の空き容量
ドライブ：	CD-ROMドライブ 必須
インターフェース：	USB インターフェース（標準装備に限ります）

※動作環境を満たすパソコンの中でも一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。

＜動作環境に関するご注意＞

◎Windows 95/3.1、Windows 98、Windows NTでは動作致しません。

◎Windows 2000は、Windows 2000 Professionalのみ保証対象となります。

◎以下の条件では動作保証致しません。
- Windows OSをアップグレードしたパソコン
- USBハブや拡張USBボードに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコン。

Mac

ーMac OS 9.2.2以上
ーMac OS X 10.1.4以上
ーCarbonLib 1.6以上
＊CarbonLibの更新方法：
OS X : アップルメニュー➡システム環境設定➡システム➡ソフトウェアアップデート
OS 9 : アップルメニュー➡コントロールパネル➡ソフトウェアアップデート

1. 保証書の記入事項

本製品のパッケージには、保証書が同梱されております。お買い上げの際は必ず販売店より［購入日］と［販売店印］欄などの記入をお受けください。
保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。また、保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください。

2. 修理をご依頼の前に

本取扱説明書のトラブルシューティング、ホームページのFAQをよくお読みいただき、それでも解決しない場合にはアイリバージャパン サポートセンターまでご相談ください。

アイリバージャパン サポートセンター

☎0120-266-551　E-mail: info@iriver.co.jp

受付時間：月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00（土、日、祝祭日を除く）

ホームページアドレス　**http://www.iRiver.co.jp**

〒108-0014　東京都港区芝5−31−16 YCCビル 7F

誠に恐れ入りますが、年末年始などのサポートセンター休業日にはお電話をお受けできない場合もございますのであらかじめご了承ください。また、サポートセンターの電話が通話中の場合、誠に恐れ入りますがしばらくたってからおかけ直しいただけますようお願い申し上げます。

〈 ご注意 〉

◎本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者およびほかの権利者の承諾を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。◎本製品でのご使用により生じたその他の機器やソフトの損害に対し、当社では一切の責任を負えませんのであらかじめご了承ください。◎本製品およびパソコンの不具合により音楽データが破損、または消去された場合のデータ内容の補償はご容赦ください。◎イヤフォン使用時には、周囲の音が聞こえにくくなりますので、自転車や自動車などの乗り物を運転するときや、道路を横断するときなどは絶対にお使いにならないでください。また、音量を上げすぎて、周囲の迷惑にならないようにご注意ください。◎本製品に関するお問い合わせ、サポート、およびカタログ掲載内容については国内限定とさせていただきます。◎記載の外観、および仕様は、改善等のため予告なく変更される場合があります。

〈 商標について 〉

アイリバージャパン株式会社
http://www.iRiver.co.jp

※当社では常に製品の改善を行なっており、お客様のお買上げ時期によっては同一製品の中にも多少差があるものがございますがご了承ください。
　また取扱説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
※本書内容については、将来予告なしに変更することがあります。

（2003.9）